



# わくわく実験びっくり箱 2013

茨城県と沖縄県を初訪問！

## ご当地名物を使った実験に 子どもたちは興味津々

Making Science Make Sense 2013: Workshops in Ibaraki and Okinawa fascinate children with experiments using familiar items from the local environment

日本のバイエルでは、持続可能な発展に向けた取り組みのひとつとして、2003年より「わくわく実験びっくり箱」を実施。子どもたちに科学の面白さを伝える活動をしている。2013年は茨城県水戸市立城東小学校と沖縄県糸満市立喜屋武小学校を訪問。米どころ茨城名産のコシヒカリや、沖縄の子どもたちに馴染みの深いサンゴなど、ご当地名物を使って実験した。

Bayer in Japan has hosted the Making Science Make Sense program since 2003 to introduce children to the wonders of science. This year, we conducted workshops at two schools in Ibaraki and Okinawa that used items familiar to the kids—Koshihikari rice and coral.

ふしぎからはじまるサイエンス

### 「わくわく実験びっくり箱」

小学生を対象に科学の発見や面白さを伝える体験・質問型の理科実験教室で、バイエルの社会貢献プログラムのひとつ。2003年から毎年全国の小学校を訪問している。



## 茨城

6月27日

茨城県水戸市立城東小学校 5年生 (58名)

**ポン菓子づくりが分かる！  
空気と水の不思議**



減圧実験をする  
子どもたち



すごい！ブクブク  
沸騰してきた！



容器内の空気を抜いて、  
水を沸騰させる実験

ポン菓子が  
飛び出した！



ポン菓子を  
ルーペで覗く



実験の説明に興味津々

## 沖縄

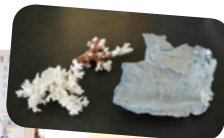
7月9日

沖縄県糸満市立喜屋武小学校 5・6年生 (24名)

**炭酸ガス風船で学ぶ  
二酸化炭素とサンゴの秘密**



地元のサンゴ



すご〜い！



一気に風船が  
ふくらむ様子が  
びっくり！



二酸化炭素(赤い風船)と酸素(白い風船)  
で気体の重さ比べ

メインイベント  
「メントスコラの実験」  
二酸化炭素が一気に噴き出す！



このきれいな沖縄の海を守る  
ために、サンゴはとても重要な  
役割を果たしている



すごい勢い！